

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年6月7日（月）

午後1時00分 開会

午後1時43分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（10名）

委員長	知名康司
委員	平安座武志
委員	真喜志晃一
委員	上里広幸
委員	石川慶

副委員長	桃原功
委員	桃原朗
委員	栄田直樹
委員	宮城克
委員	又吉亮

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（2名）

基地政策部 次長	多和田功
-------------	------

基地渉外課 課長	吉村純
-------------	-----

○ 議会事務局職員出席者（2名）

議事担当 主査	大城拓也
------------	------

主任主事	渡嘉敷真
------	------

○ 協議案件

うるま市津堅島への米軍ヘリ不時着について

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

令和3年6月7日（月）

○知名康司 委員長 ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午後1時00分）

【協議事項】

本件の取扱いについて

○知名康司 委員長 招集請求委員から今回の招集について説明いただきたい。

○上里広幸 委員 6月2日に報道があったことを受け、3日、基地政策部に不時着の件について確認したところ、事実であるとのことであった。会派で調整したところ、普天間飛行場所属機でもあることから、市議会として抗議要請を行うべきではないかとの結論に至り、本委員会の招集を求めたものである。

○知名康司 委員長 本件の取扱いについて決定する前に市当局より現状を聴取したいと考えるがいかがか。

（「異議なし」という者あり）

○知名康司 委員長 異議なしと認めます。では、当局入室をお願いします。

（基地政策部次長、基地渉外課長入室）

○知名康司 委員長 では、当局より騒音被害の現状等について説明をおねがいたします。基地政策部次長。

○基地政策部次長 6月2日の23時頃、普天間飛行場所属のヘリコプター、UH-1が津堅島に予防着陸したことについての招集と伺っている。詳細は基地渉外課長から申し上げたい。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 6月3日、午前4時57分、沖縄防衛局より津堅島にて米軍所属と思われるヘリコプターが民有地の畑に着陸したとの一報がメールで送付された。それを受け、沖縄防衛局に対し、本件に関する情報提供を依頼した。午後3時54分頃、以下の内容の連絡があった。第一海兵航空団に所属しているUH-1が6月2日午後10時45分頃、定期的な訓練を実施していたところ、パイロットが機械的な不具合の可能性を検知したため、津堅島の私有地に予防着陸を実施した。乗員は訓練どおり行動し、念を入れて航空着陸は手続に沿ったものであった。着陸によるけがや損傷はない。訓練指定区域内で適切な訓練を実施していた。検査のため、一行を派遣し、修復のための最適な方法を決定する。乗員及び地域住民の安全と航空機の耐

久性を保護する立場に変わりはない。との趣旨の内容であった。報告を受け、基地政策部から沖縄防衛局に対し、原因究明を始めとする情報提供と申し入れを行った。6月4日の9時20分、市長から沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使へ市民、県民の不安払しょくと原因究明、整備点検、安全管理の徹底、夜間訓練を控えるよう強く申し入れを行った。本日、7日の11時49分に同機が津堅島を離陸し、12時04分に普天間飛行場に着陸したとの報告を受けた。

○知名康司 委員長 この件に関して質疑を許します。平安座武志委員。

○平安座武志 委員 今回、ヘリのエンジン異常と伺っているが、機器の異常を示すランプがついて安全確保のために予防着陸をすることは航空法や米軍の運用では予防着陸することを求められているのか。もしくは、異常があっても基地まで飛行しなければならないのか。

○知名康司 委員長 基地涉外課長。

○基地涉外課長 国内法に具体的な記載があるとの確認は取れていない。国交省の通達では、安全な飛行が困難で出発地または代替飛行場への着陸が困難な場合は速やかに予防着陸することが示されている。ただし、今回の予防着陸は詳細が把握できていないことを申し添えたい。

○知名康司 委員長 平安座武志委員。

○平安座武志 委員 そのまま基地に帰るほうが危険であり、乗員の生命を考えれば予防着陸は仕方のないことと考える。原因はヒューマンエラーなのか、エンジンの劣化なのか。当該ヘリはベトナム戦争当時から使用されていると認識している。現在使用している機体はエンジン等がリニューアルされていると伺っている。現在も不時着現場にあると認識してよいか。

○基地涉外課長 本日の11時49分に津堅島を離陸し、12時04分に普天間飛行場に着陸したとの報告を受けている。

○平安座武志 委員 原因は市に報告されていないと理解してよいか。

○基地涉外課長 そのとおりである。

○平安座武志 委員 夜間訓練が活発化しているように感じているが、その理由を市は把握しているか。

○基地涉外課長 航空情報を閲覧することで飛行許可された機体がいつまで運用されているかは確認できる。夜間の着陸回数等は沖縄防衛局から報告いただいているが、訓練の内容までは把握していない。

○平安座武志 委員 台湾有事が想定されていることや尖閣諸島の問題、あとは南シナ海に中国海軍、海警局、民間漁船等が200隻以上停泊しているということに対する訓練と伺っているが、市としてはどう把握しているか。

- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 さまざまな世界情勢を鑑みてのこととの報道は確認している。外来機が飛来した際等に沖縄防衛局に目的等を照会するが、返答はいただいていない。
- 平安座武志 委員 他市町村の動向について把握しているか。
- 基地渉外課長 把握できていない。
- 知名康司 委員長 宮城克委員。
- 宮城克 委員 先ほど説明いただいた通達は米軍も対象となるのか伺いたい。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 通達の宛先に米軍は含まれていないため、対象とはならないと認識している。
- 知名康司 委員長 石川慶委員。
- 石川慶 委員 普天間飛行場所属の米軍機はこれまで何回予防着陸したか。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 予防着陸の回数は把握していない。
- 知名康司 委員長 石川慶委員。
- 石川慶 委員 市としては、今回の件を予防着陸として認識しているのか、それとも不時着事故と認識しているのか。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 個別の判断になると理解している。
- 知名康司 委員長 石川慶委員。
- 石川慶 委員 今回の件を受け、市長の対応を伺いたい。また、予防着陸に対し、抗議等を行ったことはあるか。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 6月4日、沖縄防衛局長及び外務省沖縄担当大使に対し、電話にて申し入れを行った。予防着陸が頻発した平成29年、平成30年に抗議要請を行ったことがある。
- 知名康司 委員長 桃原功委員。
- 桃原功 委員 新聞にAH-1とUH-1というヘリについて報道がなされていたが、2つの機体の違いについて伺いたい。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 詳細は違いについては把握していない。AH-1は乗員2名、UH-1は乗員2名、乗客11名との資料がある。
- 知名康司 委員長 桃原功委員。
- 桃原功 委員 1971年以降にUH-1からAH-1が新しく登場しているが、どちら

も現在使用されている。いずれにしても相当古い機種である。事故の翌日、市民からメールがあり、不時着があった夜、ヘリが赤いライトを付けながら志真志区上空を飛行していたが、うるま市に不時着した機体と関係があるかとの内容であった。

米軍は住宅地上空で訓練しているが、市当局は米軍のノータム情報を把握しているのか。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 航空情報は確認している。

○知名康司 委員長 桃原功委員。

○桃原功 委員 ノータム情報はチェックしていると理解してよいか。午後 10 時以降の飛行や外来機の飛来等について毎回抗議しているのか。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 基地被害 110 番の抗議の声等を翌日に防衛局、米側にメールにて送付している。

○知名康司 委員長 桃原功委員。

○桃原功 委員 当局に指摘することではないが、報道では、被害はなかったと記載されているが、当事者にとっては大変な恐怖であったと想像する。また、4 日間畑もできなかったことや精神的な負担を考えると被害がなかったとするのはいかなものか。しっかり抗議すべき事案と考えるが、防衛局に対する市長の申し入れに対し、どういった返信があったのか伺いたい。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 防衛局としても米軍に対し安全性の確保について申し入れをすると回答をいただいている。

○知名康司 委員長 桃原功委員。

○桃原功 委員 米軍からの返信はあったか。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 把握していない。

○知名康司 委員長 議長。

○上地安之 議長 当該機は普天間飛行場に何機配備されているか。また、使用年数についても伺いたい。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 6 機配備されているが、使用年数は資料を持ち合わせていないため不明である。

○知名康司 委員長 議長。

○上地安之 議長 後日報告していただきたい。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 後日報告してまいりたい。

○知名康司 委員長 ほかに質疑もないようなので、当局は退室をお願いします。ありがとうございました。

(基地政策部次長、基地渉外課長退室)

○知名康司 委員長 当局の説明を伺ったが、本委員会で取り扱うべきか、会派持ち帰りとするか各委員の意見を伺いたい。桃原功委員。

○桃原功 委員 取り扱うとともに、しっかり関係機関へ抗議すべきと考える。

○知名康司 委員長 平安座委員。

○平安座武志 委員 持ち帰って検討させていただきたい。

○知名康司 委員長 石川委員。

○石川慶 委員 今回の件は事故なのかという確認も必要であるし、不時着に対して抗議するのか、整備の在り方に講義するのか。いずれにしても何に対しての抗議要請なのかを明確にしてから会派調整を行ったほうがよいのではないかと。

○知名康司 委員長 上里委員から文案を提出いただいているため、事務局に配付させたい。その上で、会派持ち帰りとし、今回の件を委員会で取り扱うかどうか、そして取り扱う場合は文案を会派内で検討していただきたい。次回の委員会は定例会初日の6月10日に開催したい。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

【協議結果】

今回の件を本委員会で取り扱うかも含め、文案についても検討を行うこととし、次回は6月10日の定例会終了後に開催することに決定した。

○知名康司 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻 (午後1時54分)